

令和5年度移動教育委員会 意見交換会 発言要旨  
(県立浜松湖北高等学校)

開催日時：令和5年10月19日(木)10時15分～12時10分

場 所：浜松湖北高等学校

参 加 者：浜松湖北高等学校職員、静岡県教育委員 など

## 1 学校概要説明

(浜松湖北高等学校 大澤校長)

- 本校は、旧引佐郡の3校(引佐高校、気賀高校、三ヶ日高校)が統合再編され、平成27年4月に開校した。3校はいずれも歴史ある伝統校で、地域社会からの期待は大きい。また、平成29年度には佐久間分校を開校している。
- 県内では唯一、普通科、農業科、工業科、商業科の4つの大学科が併置されており、農業、工業、商業を「産業マネジメント科」として、独自のスタイルで産業教育を行っている。1学年8クラスで構成されており、入試の際には大学科別に志願を受け付けている。
- 本校では、卒業までに身に付ける力を示した「グラデュエーション・ポリシー」、学びの内容を示した「カリキュラム・ポリシー」、求める生徒像を示した「アドミッション・ポリシー」の3つのスクール・ポリシーを掲げている。
- 「湖北MAGIC」は、「ものづくり」と地域貢献をする取組で、普通科と3つの専門学科の生徒がそれぞれの強みを生かして連携し、開校当初から進めている本校の看板事業である。元々は引佐高校で農業と工業が連携する取組を行っており、本校が開校した際に4つの学科で連携しようと始まった。全生徒が模擬会社「湖北MAGIC株式会社」に所属し、生徒から選出された湖北MAGIC委員会が主体となって活動を進めている。
- 「MAGIC」は、Multiplied-education(連携)、Agricultural(農業科)、General(普通科)、Industrial(工業科)、Commercial(商業科)の頭文字から名付けられている。
- コロナ前は様々なことに幅広く取り組んでいたが、コロナによる中断をきっかけに見直しを行い、現在は「地域密着」に重点を置いている。主な活動としては、①金指駅クリーン&イルミネーション、②湖北イルミネーション、③企業と連携した商品開発と販売促進活動、④地域情報誌「いなサーチ」の4つが挙げられる。
- 「金指駅クリーン&イルミネーション」については、毎年12月、生徒が金指駅にイルミネーションを飾り付け、点灯式を実施している。また、工業科の生徒を中心に、校内でも「湖北イルミネーション」として装飾やLEDの配線を行っているほか、昨年度からは佐久間分校にも生徒と教員が出向いてイルミネーションを設置している。
- 「企業と連携した商品開発と販売促進活動」については、昨年度から長坂養蜂場及びパントリーネシシステムと連携して「青春かりんとう」を開発し、販売促進活動を行っている。

- 「地域情報誌『いなサーチ』』については、元々引佐地区の青年団が「いなさマップ」という情報誌を製作していたが、生徒の力を借りたいとの打診があり、昨年度から連携を始め、生徒が企業等に取材に行っている。今年は12月に発行予定で、約7,000部発行し引佐地区全戸に冊子を配布する。
- 佐久間分校が県教育委員会のオンリーワン・ハイスクール事業に採択され、本校と連携しながら「中山間地域におけるICT技術や地域資源等を活用した多様な学習機会の提供の研究」をテーマとして研究を進めており、今年で3年目を迎える。具体的には、本校と分校との間での遠隔授業や単位認定、地域貢献・連携活動、進路指導部の充実等、本校と分校との間でノウハウを共有しながら取り組んでいる。
- 地域とともに歩む普通科・専門学科併置校として、地域の資源や人材の活用及び実践型の教育活動を通して、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指している。

## 2 施設及び授業見学

### 3 意見交換

#### 教育委員

- 学科の選択に関して、一度選択したコースを変えることはできるのか。また、変えることができるのであれば、そのことは生徒に伝わっているのか。
- イルミネーションに再生エネルギーを活用できると、工業科生徒の勉強になるし、対外的なアピールもしやすいのではないか。
- 産業マネジメント科では、経営感覚を養う教育は行われているのか。
- 地域社会から「このような人材を育ててほしい」等の要望はあるか。
- 教員の働き方改革に関して、工夫していることや成果はあるか。また、湖北MAGICは特徴的な取組で苦勞も多いと思うが、取組の中で中止や縮小したものはあるか。
- 3校が統合再編されたことにより生じている問題はあるか。

#### 浜松湖北高校

- これまでコースを変更した生徒はいないが、制度上は変更も可能と思われる。生徒に伝わっていない可能性もあるが、生徒には将来を見据えて選択するよう指導しているため、安易に決める生徒はいない。
- 再生エネルギーの活用については、今後検討する。
- 商業科では、経営に関する教育も行っている。農業科では、食品販売に関わる生徒は商業の授業と一緒に参加しており、この2コースは連携できているが、工業科はまだ不十分と感じてる。
- 社会全体として人手不足であるため、働き手がほしいとの要望はあるが、具体的な人材に関する要望はない。
- 職員会議をペーパーレスで行う等、可能な限り紙の資料はなくし、デジタル化を進めて

いる。また、会議資料を早めに準備し事前に目を通してもらうことで、会議をスムーズに進めることができるよう工夫している。

- 一部の教員に仕事が偏ってしまうことについては、なかなか改善が難しい。例えば、看板事業である湖北 MAGIC の担当者は、外部からの要望や依頼が多く、全てを受けると負担が大きくなってしまうため、その要望や依頼が生徒にどのような影響をもたらすのか考えて判断するよう話をしている。
- 現時点では湖北 MAGIC の取組を細かく見直すところまで着手できていないが、文部科学省の中央教育審議会の答申が出されたこともあり、どこまで学校が関与すべきか等、学校の役割を見直す必要性は感じている。
- 3校が統合される前は混乱もあったと聞いているが、現在は全く問題ない。3校合同の同窓会も、学校のことを理解し考えてくれている。

#### 浜松湖北高校

- 湖北 MAGIC は、様々な生徒と関わり切磋琢磨できる点が魅力である。コロナ禍が明け、地域のイベント等が再開する中で学校には多くの要望が届くため、調整には大変な面もあるが、地域の方のおかげで生徒が成長するきっかけを得ており、生徒自身もそのように感じていると思う。

#### 教育委員

- 今後の教育を見据え、新たな設備等の要望はあるか。

#### 浜松湖北高校

- 農業科については、スマート農業を学ぶことができる設備や環境の整備ができるとありがたい。
- 工業科については、例えば電気自動車に関する設備を導入するにしても、それを指導できる教員がいなければ意味がない。教員も指導方法等を勉強する必要がある。
- 商業科については、商品開発の場合、企画だけでなく実際に商品を形にするのであれば、デザイナーやマーケター等に協力をお願いするための予算が必要となってくる。
- 県事業の「プロフェッショナルへの道」を活用し、既にそれぞれの学科で外部の人を呼んでいるが、商業科においては特に継続した外部とのつながりが重要であるため、そのような機会を増やすことができるとありがたい。
- 普通科については、3年ほど前までは卒業生の6割が就職、4割が進学であったが、現在は割合が逆転している。国際学に興味を持つ生徒や、国公立あるいは有名私立大学に進学を希望する生徒も増えており、そのような生徒に対する支援を充実させていきたい。

#### 教育委員

- 来年度から、AOI-PARC（アグリオープンイノベーション拠点）にて先端農業に関する教員向けの研修を企画しているため、活用を検討していただくとよいのではないか。
- 教員免許を所持していない人を教員として学校に招くことも可能である。専門的な知識を有する人を地域から派遣してもらい、教員が学ぶことができる仕組みがあるとよい。

## 教育委員

- 学校運営協議会の構成員や開催頻度、活動内容、今後の課題は。

## 浜松湖北高校

- 学校運営協議会は、常葉大学浜松キャンパスの教授、金指地区の自治会会長、本校PTA会長と副会長のほか、天竜浜名湖鉄道、(株)スズキ部品製造、奥浜名湖観光協会からそれぞれ1名ずつの計7名で構成しており、年4回開催している。
- 常葉大学の教授には産業教育審議会の委員もお願いしており、本校の取組への理解と様々な助言をいただいている。コロナが蔓延する前までは、湖北MAGICの活動や「いなサーチ」の出来映えに対するアドバイスもいただいていた。今後は働き方改革に関しても、文部科学省からの提言も含め議論していきたいと考えている。

## 教育長

- 湖北MAGICについて、専門学科生徒の連携が中心に感じたが、普通科生徒の学びがどのような相乗効果をもたらしているのか。

## 浜松湖北高校

- 「湖北MAGIC委員会」は全ての学科から委員を選出しており、普通科の生徒も取組には関わっている。天竜浜名湖鉄道沿線で演奏会を開催する際の学校紹介や、台湾の高校との英語を使った交流は普通科の生徒が中心となって活動している。
- 普通科の学びを湖北MAGICにどのように生かすかが課題である。今後、産業マネジメント科の生徒が商品の紹介等で英語のプレゼンをしたい時に、英語の授業時数が多い普通科の生徒にアドバイスをもらいながら考える等の取組を考えている。

## 教育長

- 湖北MAGICで関わりを持った企業と生徒の進路に関連性はあるのか。

## 浜松湖北高校

- 現状では学校から企業へのアプローチや、企業から学校への求人募集等の直接的な関連はないが、インタビューや活動における企業との関わりの中で、事務や販売の分野への就職を考えていた普通科の生徒がものづくりに興味を持つなど、生徒の学びや進路には影響を与えている。

## 教育長

- 統合前の3校はいずれも歴史ある学校であり、同窓会とも良い関係を築いているとのことだが、更なる支援を期待することはできないか。

## 浜松湖北高校

- 後援会長からは、何かできることはないかと声を掛けていただいている。学校と地域が連携しながら、地域の将来に向けた種まきができるよう取り組んでまいりたい。